

印南町次世代育成支援後期行動計画◆◆◆

「ふれ愛 ささえ愛 安心の子育て

みんなで きずく 輝くいなみ」

5

関連資料



5. 関 連 資 料

町内に設置予定の認定こども園は、民設民営での運営となりますが、本町の就学前児童の保育・教育の場であり、以下の3点の基本理念を示し、保育目標の実現をめざします。

認定こども園での教育・保育にあっては、就学前の乳幼児期に一貫した教育・保育計画・指導計画を作成し、発達段階に応じた教育・保育を実施していきます。また、地域と家族の子育て力の向上と子どもの健やかな育ちを実現するため、地域の子育て家庭を対象とした子育て支援を実施していきます。

保育理念

- ① 幼稚園・保育園のそれぞれの良さを生かして、就学前の0～5歳児まで一貫した幼児教育を行います。
- ② 保護者・地域・こども園が一体となって子どもたちの健やかな育ちを実現します。
- ③ すべての乳幼児のために、地域や関係諸機関と連携を図りながら、子育ての喜びを実感できるよう、子育て家庭を支援します。

上記の3点を理念として、子どもたちが何事においても自発的・意欲的に関われるような環境を整え、そこにおける子どもたちが主体性を持って多様な体験を通して豊かな感性を育て、創造性を豊かにするよう長期的な視野のもと幼児一人一人の活動の場面を作るとともに、集団生活の中で多くの人々と関わりながら、自分たちの新しい社会を形成し、友達を思う心や助け合う気持ちを芽生えさせることを目的とします。

保育目標

印南町幼児教育目標に準じ、集団生活を通して、心身共に健全な乳幼児の育成を目指し、次世代の子どもの育成を図ります。

- ① 明るく伸びやかな子どもの育成
- ② 心豊かで我慢の出来る子どもの育成
- ③ みんなと協力できる子どもの育成
- ④ 意欲的に表現できる子どもの育成
- ⑤ 読み・書き・計算の素地作り

また、町内の保育施設においては保育指針を策定して保育活動を推進するとともに、町は町内保育施設のサービス・運営全般にわたる質の向上を図るためのアクションプログラムを示し、保育施設での取り組みを支援します。

印南町内の保育施設における質の向上のためのアクションプログラム

策定趣旨：

保育所保育指針が公布され、保育施設での保育の質の向上を図るための各種取り組みを町が支援するため、国のアクションプログラムを基に、次世代育成支援行動計画と連携を図りながら、保育の質の向上を図るためのアクションプログラムを示します。

実施期間：

平成22年度から平成24年度までとします。（国のプログラムが平成24年度までです。）

具体的な施策：

（１）保育実践の改善・向上

常に、保育内容や方法を見直し、改善・向上を図ります。

①自己評価の推進

国の作成する「保育士等及び保育所の自己評価に関するガイドライン」を基に、保育現場での自己評価に活用します。

②保育実践の改善・向上の支援

国や事業所などで進めている、保育実践上の課題に関する調査研究資料を入手し、保育士の取り組みに活用します。

③情報技術の活用による業務の効率化

保育園の業務の効率化を図るため、パソコン等の活用を促進します。

④地域の関係機関との連携

町は地域の実情等に応じ、町内の保育施設、地域子育て支援拠点、小学校、公民館、要保護児童対策地域協議会、母子保健推進員、食生活改善推進員など、地域の関係機関等と積極的な連携及び協力を図るよう支援します。

（２）子どもの健康及び安全の確保

町内の保育施設が、子どもが健康で安全に生活できる場となるようにします。

①保健・衛生面の対応の明確化

国の作成する「保育所における保健・衛生面の対応に関するガイドライン」を基に、保育現場で迅速に対応できるように協議しておきます。

②専門的職員の確保

体調不良の子どもへの対応に努めていますが、健康面の対策を推進するため、看護師等の専門的職員の確保に努めます。

③嘱託医の役割の明確化

子どもの健康支援等に当たり、嘱託医が十分に役割を果たせるよう、業務の明確化を図ります。

④支援が必要な子どもの保育の充実

障害等で支援が必要な子どもの保育に関して、保育施設と関係機関等との連携が適切に図れるよう支援します。

⑤地域の関係機関との連携

町は地域の実情等に応じ、町内の保育施設、要保護児童対策地域協議会など、地域の関係機関等と積極的な連携及び協力を図るよう支援します。

(3) 保育士等の資質・専門性の向上

質の高い人材の確保を図ります。

①研修の充実

国が作成する「保育所の職員に対する研修を体系化したガイドライン」を参考に、職員の研修内容の充実を図るとともに、外部の専門家の活用に努めます。

②保育士の専門性を高めるための資格や養成の在り方の検討

国では保育士の資格、養成の在り方の見直しを検討する予定となっており、これに基づき、必要な対応を講じます。

(4) 保育を支える基盤の強化

(1)～(3)の保育環境の充実を図るための支援体制等を確保します。

①評価の充実

国が作成する「保育士等及び保育所の自己評価に関するガイドライン」に基づき、自己評価及び学校関係者等評価委員会での評価を行います。

②専門的な人材や地域の多様な人材の活用

町内の保育施設が保育実践に関する専門的な人材や地域における子育て支援に関する多様な人材を活用して、地域の実情等に応じた様々な取り組みを行うことができるように、人材の確保や必要な調整などに努めます。

③保育環境の改善・充実のための財源の確保

町内の保育施設の取り組みを支える保育環境の改善・充実を図るため、必要な財源の確保に努めます。

印南町次世代育成支援後期行動計画策定委員会委員

氏 名	職 名
石 橋 幸 四 郎	印南町民生児童委員 主任児童委員
周 家 皓 二	印南町青少年健全育成町民会議 会長
芝 正 人	印南町小学校校長会 会長
鈴 木 麻 起	子育てアドバイザー 代表
畑 中 七 恵	子育てサークル「スマイル」 代表
真 田 貴 子	子育てサークル「よちよち会」 代表
中 北 昌 美	子育てサークル「さくらんぼ」 代表
森 本 さ ゆ り	子育てサークル「ひよこクラブ」 代表
吉 川 眞 知 子	印南母子保健推進員 代表
前 田 和 美	保育園長代表（あけぼの保育園長）
青 木 幸 子	幼稚園長代表（印南幼稚園長）
福 田 貴 啓	保育園保護者会代表（切目川保育園保護者会長）
杉 本 正 秀	幼稚園保護者会代表（稲原幼稚園保護者会長）
小 橋 孝 行	印南町PTA連合会 会長
船 木 武 裕	印南町教育委員会 教育長

印南町次世代育成支援後期行動計画

平成 22 年 3 月

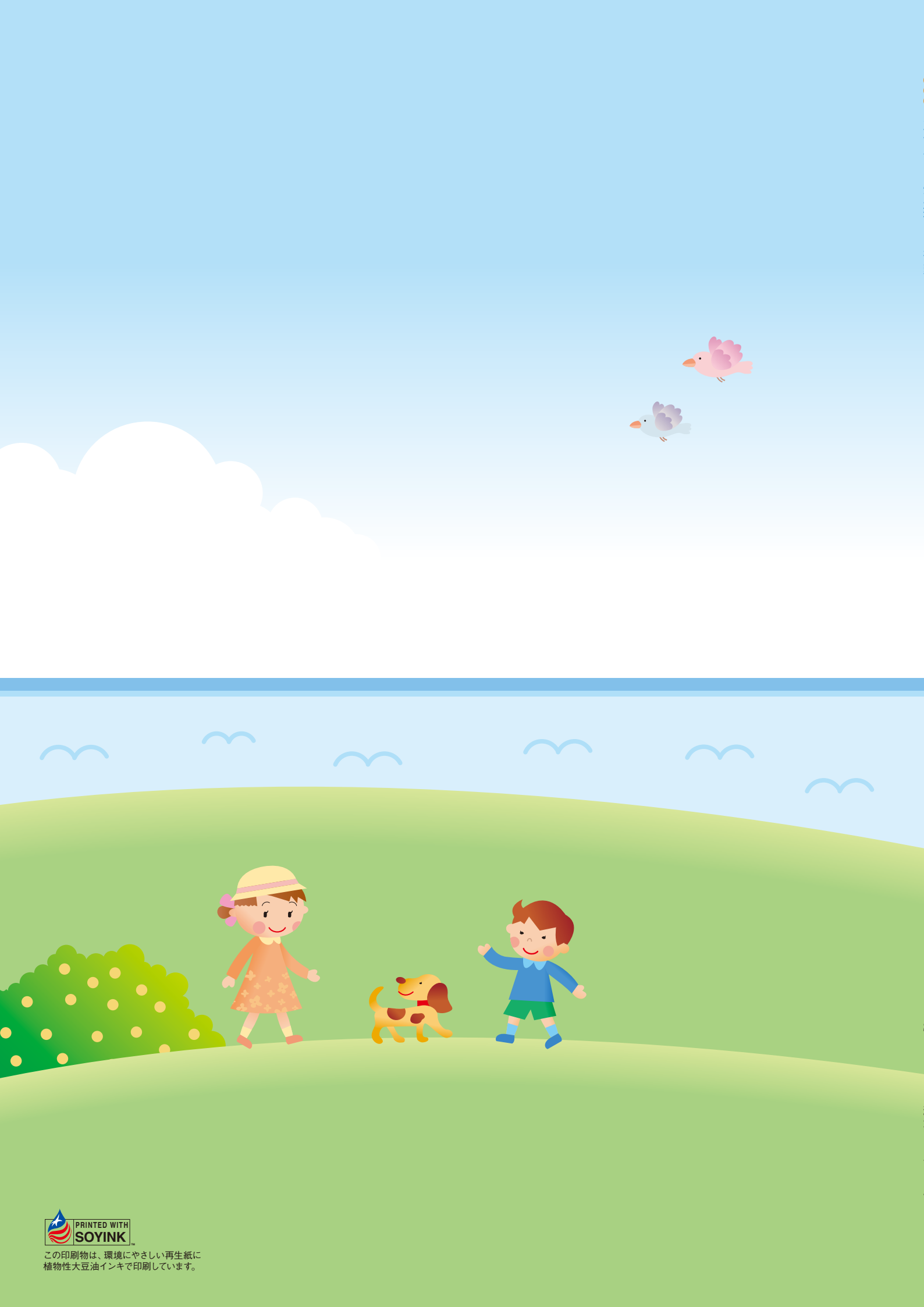
編集・発行 印南町教育委員会

〒649-1534

和歌山県日高郡印南町印南2252-1

TEL (0738) 42-1700

FAX (0738) 42-1577



この印刷物は、環境にやさしい再生紙に
植物性大豆油インキで印刷しています。